

# つばめ会会報 “Slope” #48



M1説明会会場前にて

## 目次

1. 会長の言葉(24期 坪居大介)
2. 幹事長の言葉(37期 武田悠作)
3. 茶の里いるま大会運営記(24期 坪居大介)
4. つばめ会会計報告 202212-202306(39期 田口滉一)
5. つばめ会活動実績 202212-202306&お知らせ&編集後記(39期 大倉峻吾)

## 会長の言葉

坪居大介 24期

ようやく新型コロナウイルスが5類になり世間がお出かけムードになってきた今日このごろ、皆様いかがお過ごしでしょうか。実は私自身としては趣味が全部アウトドア&1人でやるものが多いので、週末の遊びに関して感染云々はあまり関係ないのですが、だんだん世の中が明るくなっているのは良いことです。ちなみに前回の原稿を書いた

2022/12は1日あたり10万人の感染者数だったようです。もう遠い昔のようですね？

オリエンテーリング業界はといえば、先日春インカレがありました。今回は全大学出場し、久々にフルスペックのインカレとなりました。東工大としても実に4年ぶりにリレーに出場することができました。私も現地に行きたくさん応援をしてきました。

ただ、とても心配になったのは、インカレの東工大の参加者数が少なかった、ということです。スタートリストを見る限り全部で10人程度だったようです。他の大学も参加者数が少ないとはいえ、東工大の人数の減り方が激しくて心配になります。そのせいかどうかはわかりませんが、選手権リレーも17位と、近年の成績を考えるとまいちと言える成績でした。今年ももう新歓もだいぶ進んでいると思うのですが、まずは新入生がたくさん入ってくると良いですね。確か4年生がコロナ直撃世代のため誰も居ない??はずだったと思うので、若手OBの皆様にはぜひ現役のニーズを汲み取り助けてあげてほしい、と思います。

さて、私事としては、去年に続き今年も入間市OLCにて開催している茶の里いるま大会にて実行委員長を務めておりました。皆様ご参加いただきありがとうございました。詳細は別に記事を書きましたのでそちらをご覧ください。茶の里大会は託児所やキッズ0、初心者説明もあるので、小さいお子さんのいる皆様も来年は是非どうぞ。

あともう1つ重要なこととしては、ついに引っ越しました。とはいっても職場が変わったわけではないので、相変わらず群馬県住まいです。今まで居たのは会社の独身寮だったので、この年にしてついに初の完全一人暮らしを始めました。きっと「あいつは生きていけないんじゃないか」とみんな思っていそうですが、まだ何とか生きています。とりあえず①食事が単調になりがち②電子レンジ最高③ルンバ買ってよかった⑤何買っていいかわからない⑥もし登山等で泊まるのなら(覚悟の上で)ぜひどうぞ あたりでしょうか。

というわけで(?)、また大会会場やら飲み会やらで会員の皆さんに会える日を心待ちにしています。これからもつばめ会を楽しく盛り上げていきましょう。

# 幹事長の言葉

37期 武田悠作

そろそろ初めましての人がいるかもしれませんね。2014年入学、37期の武田です。

今年も新M1の皆さんがつばめ会に参加してくれること、嬉しく思います。環境が変わり忙しくなるとは思いますが、今後も自身のオリエンテーリング活動、そして後輩のサポートをしていっていただけると幸いです。

さて、私の近況ですが、昇進を機に寮にいれなくなり学芸大学駅近くに引っ越しました。

久々の一人暮らしで、中華鍋を買って中華作りにハマってみたり、推しのグッズを色々飾ってみたりと楽しく過ごしています。駒沢公園も近いからランニングもしなきゃ……と思いつつ出来ていない日々。大岡山も近いのでランニングなり飲み会なり、機会があったらぜひ誘ってください。

最近マスクも外す人も増え、日常が戻ってきたと感じています。オリエンテーリング界もまた盛り上がりを見せてくれると思いますので、現役のサポート、会員各自の活動を楽しんでいきましょう！

# 茶の里いるま大会運営記

坪居大介 24期

先日の茶の里いるま大会@上谷&弘法山観世音では、つばめ会&東工大 OLT から多数の参加をいただきました。ありがとうございました。

この大会では実行委員長を務めさせていただきました。というわけで、茶の里いるま大会の運営記を書いてみようと思います。せっかくなので、1年では飽き足らず3年分で。

1年目：2021年@会場パートチーフ

2019年茶の里大会にて入間市 OLC に（いまさら）入会。いまさら入会したのかというツッコミはさておいて、入間市 OLC に入るということは茶の里大会を運営するということである。まあ、大会運営があるというのはもちろんわかっていたし、エリートランナーじゃないしインカレ運営ほぼやったことないし、1年目ならいきなり役職付きてことはないだろう。

(※ここまでの運営経験は OLT 杯・ロングセレ(下っ端)・春インカレ(2週間前から)のみ)

そんな中、2020年2月頃に実行委員長の嗟峨君から相談が。

「坪居さん、会場パートチーフやりませんか？」

…は？？俺運営のこと全然わかってないけどいいの？

まあパートチーフなら何とかかな？というわけで会場パートチーフになった。

(余談だが、俺と同時期に入間に入った西村もスタートパートチーフになった)

というわけで会場パートマニュアルを作るのだが、2020年といえばそう、コロナウイルスである。3月には会場に入ることができなくなってしまった。会場に入れなのにマニュアルなんて作れるわけがない。ひとまず適当に作成したが、緊急事態宣言が出てしまい2020年の大会はあえなく中止となった。しゃーない。

そして時は流れ2021年。大会は何とか開催できそうだが、会場は屋外にせざるを得なくなった。当初はもちろん会場は屋内だったので会場変更、つまりマニュアルは作り直しである。

他パートはマニュアルほぼそのまま使えるからいいなあなどとボヤきつつ、よく考えたら

- ①会場は屋外で駐車場隣接なので、駐車場⇄会場の行き来は楽勝&誘導不要
  - ②会場屋内の一部の部屋のみ借りられたので、女子更衣室やPC作業等はその部屋を使える
  - ③屋外の結構広いところだったので、会場レイアウトは適当でOK、場所は余裕あり
- というわけで超イージーモードでは？？と思いながら無事任務完遂。

2年目：2022年@実行委員長

入間に入って初めての運営を何とか終えた。もちろんその翌年も茶の里大会はある。パートチーフは2年連続でやることが多いため、2回目の運営も会場パートチーフかなあ、などと思っていた。そんなことを思っていた7月、場所は菅平。

入間の会長から「坪居くん、ちょっといい??」

…嫌な予感がする。そしてその予感の的中。実行委員長をやって欲しいという依頼だった。

いや、俺去年パートチーフやっただけですよ?それ以外の運営ほとんどやってないですよ?」

結構真面目に断ろうかどうか考えたが、まあなんだかんだ引き受けることにした。テレインはすでに決まっていた。秩父長尾根丘陵。

引き受けたのはいいけれど、何をすればいいのかよくわかっていない。

実行委員長マニュアルなんていうものはない。

とにかく自分にとって参考になる資料は去年の運営ログ(※Slack使ってた)が最重要。

去年のログを見ながら、やるべきことを考えていく。

パート数がとにかく多い(※全部で20パートほど)ので、人事が面倒くさい。ある程度は固定メンツがいるが、それ以外の方は自分が決定して依頼。特に運営責任者や競技責任者は最重要なので、クラブの幹事会の方にも相談しながら決めていく。

あとは大会日程と会場の確保。三河 OLC 大会(World Ranking Event なので入間より格上)に日程を譲り、JC 大会から依頼を受けて日程を譲り…と2回も変更してしまった。会場が一番ほしかった場所は取れなかったが別の場所を確保。完全屋外なので当日の天気が不安だったのだが…

人事と会場/日程が決まれば次は全体のレイアウト。大会までのスケジュール、および大会当日のタイムスケジュールをだいたい決めていく。あとは細かいことを色々決めていく。

要項も何とか作り終え、Japan-O-entrYにて申込みを開始。どの大会でもそうだと思うのだが、みんな締切直前に申し込むのでなかなか参加者が増えず心臓に悪い。申し込み締切5日前で86名、締切2日前で155人、締切当日で365人という推移となった。一応想定以上だったので安心。というか、玉露クラスは最終118名となり、120名を超えたらクラス分割を考慮していたので、そういう意味でも心臓に悪かった。

(ちなみにこのあと遅れエントリーを受け付けて、さらに+85名。そしてさらに大学新歓として+30名程度の申し込みがあった。4/10の大会なのにもう新歓として大会に来るのは想定外でした)

で、大会が近づくに増えて、細かいことを決める量が増えてきた。このころから毎日が不安な状態がずっと続いていて精神的に結構辛かった。変なところで大チョンボを起こさないだろうか、見落としはないだろうか…。ここまで見落とし&自分が気づいたことが結構あったので、どこに落とし穴があるかわからないのである。表彰のことを完全に忘れてた、とか。

そして大会当日。快晴を引き当て、桜の花が満開の会場にて大会は無事進行。なのはいいのだが、実は当日の思い出は殆どない。水が足りない、とかそのレベルの小トラブルはあり、今考えればパートチーフレベルで話をして解決すればよいことではあるのだが、それでも自分が慌てるので、周りの人から「お前はとりあえず座ってる！」（実際にはもっとソフトな言い方ですよ）と言われる始末。

そんな精神状態だったので、朝になって気づくと人がたくさん来て、気づくと昼になって、気づくと大会当日が終わっていた。その日の夜はオンラインで打ち上げ。打ち上げになってようやくホッとした。

※ちなみに、大会会場が桜で満開だったのは大会前日に初めて知りました。もっと言えば、桜の木が植えてあったという認識が全く無かったので、満開だったときはびっくりした。

#### ・試走会でミス設置

みんなで集まる準備としては、試走会が2回、入間市の公民館にて1週間前準備（地図封入とか資料作成/振り分けとか）と大会会場にて前日準備の計4回。そのうちの第1回試走会でのこと。

設置を依頼されたがよくわからない場所が2箇所あり、散々悩んでポストを設置。で、走ったあと競技責任者いわく「あそこミス設置でしたね」というツッコミが…。しかもそのあと別の参加者から別の場所の設置も怪しいという、傷口に塩を塗る発言が…。

後者の設置は、「植生界の南端のデフの場所に設置をしたが、植生界じゃない場所にポストをつけている」というもので、大会当日の地図を見たら自分がミス設置した（と思われる）場所に植生界が追加されていた。だから俺は悪くない（断言）

あとよく考えたら、完成していない地図でオリエンするの初めてだなあということに気がついた。

※前者のミス設置は明らかな間違いだったそうです

※試走会は入間の人数の多さゆえに毎回30~40人参加します。完全に練習会である。

#### ・人が多すぎて大変

入間市 OLC はクラブ員120人くらい(うろ覚え)の大所帯である。そして基本的にみんなで運営するというスタイルを取っている。それ故に大会運営者の数も多い。2022年も2023年も70~80人程度である。他地域クラブにありがちな「人が足りない」ということは基本的にない。逆に人が多すぎてみんなの動きを考えるのが非常に面倒である。さらに人だけでなく車も多く、20台以上が出動する。ここまで人&車が多いというのは大学クラブでもなかなかないだろう。個人的には、「地域クラブ界の東大大会」を名乗っても許されるんじゃないかと思っている。

※前当日の人の動きは運営責任者におまかせ。超面倒くさかったらしい。

また、この人数の多さゆえに託児所開設やらキッズ O やら初心者説明やらもさほど問題なく実施できた。託児所の需要なんて考えたことがなかったけど結構高かったりするのである。この年のキッズパートに4人配置したところ、パートチーフ曰くかなり忙しかった、とのことだった。あとキッズ O 参加者に宮○樹くんが居たような…??

・中的人是自分

大会問い合わせの中的人是実は自分だった。申し込み担当は別の人がいるのだが、色々あって自分もお手伝いしていた。そんな中、小山(27期)から問い合わせが。これ中的人在自分ってバラしたほうがいいのかなどと考えながら、知らないふりをして返信メールを書いていた。

※坪居だと名乗っていないため間違いなくバレてないはず

・酒の里オリエンテーリング 泥酔クラス

大会当日に表彰状の試し刷りをした。ちょうどよくたくみんながいたので、茶の里ならぬ酒の里オリエンテーリング大会の、玉露クラスならぬ泥酔クラスの表彰状を作成。たくみんなにプレゼントしたら喜んでくれたっぽいです。

・写真写りが悪すぎる

大会当日は小山が煎茶クラスで2位入賞。残念ながらちゃんとした表彰式はできなかったが、大会本部にて賞品をお渡し。一緒に写真を取ったのだが、自分が先述の通り酷い精神状態だったので写真写りが滅茶苦茶悪い。せっかくの表彰なのにすまんかった>小山



3年目：2023年@実行委員長

なんとか無事に大会実行委員長を終え、時は流れ9月のCC7直前。入間の会長からメールが。

「今年も実行委員長やってくれない？」

うんまあ、今年もというのは予想がついていた。前任の嵯峨君も2年(2019&2021)やっているし、その前の人も2年はやっている。というわけで今回はすんなりと受諾。

また人事である。面倒くさい。で、人事を進めていった結果、随分と年齢がお高めの構成となった。普通、俺が運営に慣れていない去年にベテラン運営員をいれて、今年は翌年以降の教育という観点からも若手を積極的に入れるという人事になるのだが、気づくと真逆となっていた。

運営責任者（小泉姉）・アドバイザー（嵯峨）・エントリー（堀田）が同期、競技責任者（田邊）が1つ上、会場（石野）が1つ下という謎の豪華布陣。運営も競走も去年(上松・和田)よりも年上である。ちなみに小泉=嵯峨=堀田と同期なのは OLT ではやまたけ(32期)。

今年は大大会会場と日程の確保はすんなり終わったのだが、テレイン選定で苦労した。上谷+弘法山で開催することができたのだが、上谷は埼玉県協会所有のため、交渉にだいぶ時間がかかってしまった。

去年の経験があるので、どんなスケジュールで物事を進めるべきなのか、自分は何をするかはある程度はわかる。というわけで、着々と物事を進めていく。ただし去年の経験が悪い方向にも作用し、「これは（去年の経験から言って）まだやらなくても大丈夫だろう」といって後で痛い目にあった事柄も結構多かったのはご愛嬌。

今年も2回試走会をして、個人的には2回目の煎茶クラスの試走で大ぶっ飛びをかまし「俺は何をしに来ているんだ…」と凹み、新茶クラスの扱いどうしよう…(※大学新歓とガチの初心者が混在するのでコース設定が本当に難しい!!) となって、申し込み開始をしたら異変が。

参加者が多い。

そもそも去年の秩父長尾根(最終的に約500人)の時点で過去最高、もしくはそれに近い数だった。2月の京葉大会が約500人だし、今年の茶の里も500人くらいかな、と見込んでいたのだが、去年と比較してエントリーの出足が明らかに良く、5日前132人(去年86人)→2日前224人(155人)→当日559人(365人)という推移で参加者が激増。遅れ・新歓も含めると700人弱に達した。

今年中高選手権(旧インターハイ)セレに指定されたので抹茶・烏龍茶クラスで参加者がかなり(各+30人程度?)増えたのだが、それだけでは明らかに説明がつかない増え方が。何しろ玉露クラスの参加者数が去年118人→今年198人である。正直いまだに理由はよくわかっていない。

申込者数増加で慌てる運営。玉露クラスは1クラスでは絶対に無理なので分割しないといけない。煎茶クラスも125人だったが、こっちは分割せずに誤魔化した。あと駐車場が足りない。慌てて会場外の駐車場を交渉して確保。会場キャパも結構ギリギリだった。

※試走会後に玉露クラスを分割したので、実は分割後の玉露クラスの通し試走はしていない

そして迎えた大会当日。大会当日まではやっぱり準備は色々大変だったが、今年は去年と違い精神的な余裕がある。入間ブログ用に超余裕そうにしている写真を撮って、キッチンカー出店のステーキ丼食べて、Slackの雑談チャンネルにてチーフみんなで雑談して「参加者数が多くても、今年は去年と比べると余裕があるなあ」なんて思っていた矢先のこと、参加者より最悪の目撃情報が。

上谷エリアで熊が出た。

一気に緊張する運営。計セン情報よりこの時点でまだ数人が上谷エリアに残っているため、とにかく安全に下山させないといけない。そしてまだフィニッシュ閉鎖時刻前なので、成績にも確実に影響が出る。結局運営者から2人組でパトロールを出し、参加者を見つけ次第競技を中断してもらい至急下山してもらうという対応をとった。結局熊に襲われたという報告はなく全員帰還し一安心。



成績についても、参加者に競技を中断してもらったのが競技時間オーバー寸前だったので、上位選手への成績には影響なしということで成立という判断を行った。幸い調査依頼や提訴はなく、こちらも一安心。 ※このあと熊出没の報告ということで 110 番通報しました。滅茶苦茶緊張した。

ちなみに、この他にも参加者が結構大きい怪我をしたり、別のトラブルがあって緊急連絡先たる坪居携帯に電話がかかってきたり（※大きな問題にはならなかった）と、当日トラブルは去年よりも明らかに多かった。今年だったから気持ちに余裕があって対処できたものの、去年だったら相当ヤバかったかもしれない。

というわけで、最後の最後にとんでもない爆弾が降ってきたものの、大会自体としては無事終了。会計も出して反省会をやったので、今年やることとしては概ね終了。無事にお役目を果たすことができて一安心。様々なサービスを実施することができて、参加者がいっぱい来て、みんなに満足してもらえて、良い大会だった。去年の精神状態&写真写りが悪かったから今年はなんとかしたいと思っていたけど、あとで写真を見て大丈夫そうだったので一安心。

#### ・テレワーク

ここ数年でテレワークはすっかり定着した。のだが、自分はテレワークを全くやっていない。2020 年も含めて全くない。というわけで、Slack で議論をしている時に平日日中に普通にコメントがついたりしているのを見て、いいなあ…なんて思ってしまう。仕返しに(嘘)こちらも深夜にコメントを付けたら某氏に文句を言われたので、平日は深夜に書き溜めをして昼休みにコメントを一気に投稿するという技をよく使用した。

なお、別に平日帰る時間が遅い訳では無いので、平日の普通の夜にコメントも付けられるのだが、帰ってきてぼーっとして 23 時とかにならないとやる気がでないという悪癖がついてしまい、この癖は結局最後まで抜けなかった。ちなみに酷いときは 2 時とかにコメントを書き上げたりしている。

#### ・エリートたちに囲まれた運営

運営でチーフを任せられる人というのは、大きい大会の運営経験があったり、大会参加数が多かったりする人たちである。そして、近年の運営では基本的に若手にチーフをお願いしている。そうすると、自然とチーフはみんなオリエンテーリングが速い人になる。今年だけで見ても田邊・堀田・石野・猪俣・清水・小泉姉・世良・片岡…と、かつてのインカレでは上位/入賞している選手がとても多い。（※去年の大会に広げると佐藤遼平や森谷も入る） そんなメンツに色々と指示を出しているのが自分というのが、なんというか凄まじくシュールである。俺はインカレでは上位どころかエリートにもなっていないし別に運営慣れもしていないのに、である。世の中というのは不思議なもんだ。

・終わりに

自分が入間に入ったのは2019年のこと。もう4年経ちますが、何だかんだやっているつもりです。人脈も色々増えたかなと思っています。少なくとも、「よく大会にいる謎の男」扱いはある程度脱却できたかなと。というわけで、みなさんもオリエンテーリングを続けるならどこかの地域クラブに入ってみるのもいいんじゃないでしょうか？ 自分としては入間に入ってくれると嬉しいです。



集合写真 2022年 ver

桜がよく咲いているのと、何故かパーマメントポストがどこかから出てきたのがポイント。ちなみにみんな同じベストを着ているが、これは入会時にクラブから支給してもらえるもの。



集合写真 2023年 ver

久しぶりに会場は屋内

この人数で運営しているの、色々サービスが実施できるというわけである

## 2023年度前期 (2022.12.3~2023.06.04)

### つばめ会 会計報告 (M1説明会)

田口 滉一(39期)

下記の通り、会計を報告いたします。

#### 収入

日付	収入項目	金額(円)
2022年12月~2023年10月	~2022.12 繰越金	282,119
2022年12月~2023年10月	社会人会員会費(21人)	63,000
2022年12月~2023年10月	学生会員会費(14人)	21,000
	合計	366,119

#### 支出

日付	支出項目	金額(円)
2023.06.03	インカレミドルリレー広告	19,000
2023.06.03	M1説明会 会場代	2,000
	合計	21,000

2023年度 前期(2022.12.3~2023.6.3) 会計収支	63000
来年度 繰越金	345,119

以上

会計:田口

## つばめ会活動実績

- ミドルセレ・インカレミドルにおいて、アミノバイタル等のサポート
- 奥三河2days 戸上さん主催 中野さん入賞
- 京葉OLクラブ大会 古林さん入賞
- その他大会に多数の参加

## つばめ会からのお知らせ

### つばめ会 ML(メーリングリスト)

つばめ会会員間の連絡手段のひとつとして運用されております。

大会情報・観戦記、同期会・飲み会の連絡、近況報告などお気軽に御利用ください。

MLのメールアドレスは tsubamekai[at]googlegroups.com となります。

御不明な点がございましたら、titech.tsubamekai [at] gmail.com まで御連絡ください。

### ホームページ

つばめ会及び東工大 OLT のホームページが稼働中です。ぜひ御覧ください。

- つばめ会ホームページ  
<http://tsubamekai.g1.xrea.com>
- 東工大 OLT のホームページ  
<http://olt.main.jp>
- 東工大 OLT の Twitter アカウント  
[東工大オリエンテーリング部\(OLT\) \(@Tokyo\\_Tech\\_OLT\) / Twitter](#)

## 編集後記(39期 大倉峻吾)

広報部長の大倉です。毎度のことながら発行が遅れて申し訳ありません。

終業後や週末にも全く運動していないため、最近では、業務時間中に椅子に座り続けることすらできなくなってきました。単に集中力がないだけかもしれません。

そこで、インナーマッスルを鍛えようと腹筋ローラーをはじめました。といいつつ週1くらいでしかやってません。

ペースが緩すぎて、いまだ効果は実感できておらず、コロコロできる回数にも変化はないです。まあゆるゆるでも続けられればいいかなって思ってます。目指せ、健康維持！

東京工業大学オリエンテーリング部OB/OG会「つばめ会」会報「Slope」48号  
発行責任者：武田悠作  
編集責任者：大倉峻吾(nem1442so[at]gmail.com)  
発行年月日：2023年6月11日